

## チェロ アドバイザー



### 野村 奈美

宇都宮市出身。宇都宮短期大学附属高等学校音楽科を経て、武蔵野音楽大学卒業。  
在学中オーケストラのメンバーとしてウィーン、ハンガリー等国内外の演奏旅行に参加。  
卒業後はフリー奏者として室内楽、オーケストラ、ミュージカル、豪華客船での演奏の他  
CM、アニメ、映画等のレコーディングにも参加しており、劇団四季「オペラ座の怪人」や  
市川右近(現:市川右團次)主演舞台「ミッシング・ピース」等での演奏、  
アニメ「アンパンマンとクリスマスの星」ではチェロヒキーさんのテーマ曲「星にいのる」の演奏を担当、  
2018年ゴダイゴ40周年記念コンサートに Strings として大阪・東京両公演に参加。  
現在 MCF オーケストラ、チェロアンサンブル008メンバー。  
これまでにチェロを尾形篤信、清水勝雄、ヴァーツラフ・アダミーラ、花崎薫の各氏に師事。  
宇都宮短期大学音楽科・同附属高等学校音楽科講師。

## 1. 日々の練習

本番を楽しむには、やはり日々の練習が必要です。基礎練習が重要なのはもちろんですが、曲を練習する際、その曲がいつどのような時に作曲されたかなど、曲の背景を知っておくと、音に対してイメージが湧きやすいと思います。自分なりに曲に物語や絵を想像するのも良いでしょう。

## 2. 本番に向けての準備

弦楽器は季節・温度・湿度で楽器の状態が刻々と変わります。本番を一番良い状態で迎える為に、日々自分の楽器の音の変化を敏感に感じ取りメンテナンスを行いましょ。弦の張り替えは音が落ち着くまでに時間が必要ですので、本番直前の張り替えはお勧めしません。衣装(制服、ドレス)や靴も本番の日に初めて着用するのではなく、事前に一度着用して演奏し、弾きにくさなど無いか確認しておくこと当日演奏に集中できるでしょう。



### 3. ホールでのリハーサル

リハーサルでは自分の音が響きやすい場所を選びましょう。

場所を選ぶ場合ステージ上で響いていても客席が響いていなくては意味がありません。客席で音の響きやバランスを聞いてもらい、アドバイスをし  
て貰うのも一つの方法です。

アンサンブルではお互いがコンタクトを取りやすい位置を確認しましょう。

大きなホールでは音の残響が長くなる為、聴こえた音に合わせていると遅  
れてしまう現象が起きる事があります。目と耳の両方を使ってアンサンブル  
しましょう。

### 4. ホールでの本番

舞台袖の扉が開いた瞬間からお客様は注目しています。堂々と笑顔で  
ステージに向かいましょう。

本番は緊張で心拍数が上がっていることもあります。すぐに演奏をスタート  
するのではなく、一度メロディーなどを心の中で歌ってから演奏を始めると  
良いでしょう。

弦楽器は声楽や管楽器と違い、つついブレスを忘れてしまいがちです。  
ブレスの無い演奏はフレーズ感が無くなり、聴いている人も苦しくなっ  
てしまいます。きちんとフレーズに合ったブレスをする事も忘れず演奏  
しましょう。そして演奏中は音楽を楽しんで下さい。



## ～まとめ～

ホールで演奏する事は演奏した人にしか分からない感覚を得る事ができ、音楽家としてステップアップする事ができます。  
練習室では感じる事の出来ない楽器の響きに感動を覚えることでしょう。  
是非発表会やコンクール、公開レッスンなど機会がある時は積極的に出演することをお勧めします。